

教職員の学びを支える指標活用ガイド

㊦ 指標とは？
指標の目的や意義についての説明が掲載されています。

教員としての資質の向上に関する指標
(以下、「指標」と表記します。)

指標とは？
教員が、キャリア段階ごとに身に付けていくべき資質・能力を示したものです。この指標では、この資質・能力を達成するよう期待されています。そのため、研修や学習指導、評価などに合わせて、指標の「達成」や「未達成」の状態を「達成している」「達成していない」「達成しているが、改善が必要」として、校内研修や教員の学習の「進捗状況」として活用されています。

4つのキャリア段階
・初任者段階 (第1年～第3年) 目標数
・准 1 級 (第4年～第10年) 目標数
・準 2 級 (第11年～第20年) 目標数
・準 3 級 (第21年～第30年) 目標数

3つの資質・能力
・授業力
・生徒指導力
・マナー・コミュニケーション力

校内での指標活用をすすめるための資料
短時間でできる、指標を活用した校内研修(例)の資料を掲載しています。



【校内研修(例)の主な流れ】

① 自身の振り返り(当日までに)

【授業実践力の振り返り】(白浜先生・初任者)
・和歌山の授業づくり基礎・基本3か条に沿って、本時のねらいを板書し、子供に書くなどの考えさせる時間をとっている。
・45分間で授業が終われず、振り返りの時間がとれないことがある。

② 指標を使った自身の位置を確認する



私の授業スタイル
これでよいのかしら。

桃山先生・6年目

③ 目指す具体的な姿を考える



系統性を意識した授業を行うことが大切だと思います。

有田先生・13年目

④ 一皮むけた経験を語る

担当する学年や分掌を持った時に、学ぼうという意欲が高まりますね。

勝浦先生・32年目

⑤ 今後の目標発表

分かりやすい発問・指示について学びます。

白浜先生・初任者

・詳しく知りたい方は、ウェブページをご覧ください！
・校内研修(例)の動画も掲載しているので、併せて活用してください！

① 指標の閲覧
教員用指標、管理職等用指標の閲覧ができます。

教員としての資質の向上に関する指標

校長・副校長・教頭・主幹教諭及び主任等に求められる資質・能力に関する指標

㊦ 教職員研修計画
学びの丘が実施する教職員研修計画を掲載しています。

令和3年度 教育センター学びの丘が実施する教職員研修計画

研修実施者	研修実施時期	研修実施内容	研修実施場所
校長	10月20日(水)	校長研修	和歌山県立大学
副校長	10月20日(水)	副校長研修	和歌山県立大学
教頭	10月20日(水)	教頭研修	和歌山県立大学
主幹教諭	10月20日(水)	主幹教諭研修	和歌山県立大学
主任	10月20日(水)	主任研修	和歌山県立大学
教員	10月20日(水)	教員研修	和歌山県立大学

② 指標の活用(例)
指標を活用した校内研修例を紹介しています。

指標を活用した校内研修例

【方法】
話し合うテーマを決める。
例えば、「指導力」など、自身の状況を振り返り、指標の上に、自分の位置を記してみる。
より実践力を高めるための手立てについて、世代を超えて話し合う。
ベテラン教諭や中間教諭は、自身の力量が向上した(一皮むけた)経験を、若手教諭に伝える。
どの教員も、さらに成長していくための機会とする(メンター・チームとしての経験を生かした研修)。

【効果】
・研修員の理解の質向上につながる。
・知識、技能等の指標につながる。
・同僚性と協働性を高め、チームとしての学校の力を強める。

③ 自己評価シート
校長・副校長・教頭・主幹教諭・主任等に求められる資質・能力について、達成度を確認することができます。

主幹教諭に求められる資質・能力 自己評価シート

項目	達成度	評価
1. 専門的知識・技能の向上		
2. 指導力・生徒指導力の向上		
3. 授業力・教材研究力の向上		
4. 協働性・協働力の向上		
5. 資質・能力の向上		

校長及び教員としての資質の向上に関する指標

教職員の学びを支える指標活用ガイド

指標とは？

指標の閲覧

教育センター学びの丘が実施する教職員研修計画

指標の活用(例)

(動画)指標を活用した校内研修例

求められる資質・能力 自己評価シート
(校長・副校長・教頭・主幹教諭・主任等)

【問い合わせ先】
和歌山県教育センター学びの丘 研修課
(0735)26-3496・3498(内線)